

目標達成計画

事業所：グループホームポランの家

作成日：平成25年12月11日

市町村受理日：平成25年12月11日

【目標達成計画】

優先順位	項目番号	現状における問題点、課題	目標	目標達成に向けた具体的な取り組み内容	目標達成に要する期間
1	1	理念の共有と実践⇒理念そのものがもつ意味の認識に欠けるところがある	私たちは、理念に基づいて日々福祉実践をしているのだ、という現実性を強く意識してもらう	毎朝のミーティングを利用し、具体的ケア内容の改善と理念を結びつけ、理念と現実的日常の中に引き出していく	平成26年12月
2	7	虐待の防止の徹底⇒接遇を介した入居者の方との関係性についての認識に脆弱さがある	入居者の方たちとの関りは全人格的なものであるという倫理意識を高める	24年に「実践と倫理」という私たちの福祉実践に取り組むための倫理、戒めを示す綱領的なものを作成したが、定期的にこれを読み合い、精神性の弛緩を防止していく	平成26年12月
3	10	運営に関する利用者、家族等意見の反映⇒外部評価に係る家族アンケートの集約をみると、ご家族が具体的に感じられていることを知る必要がある	ご本人、ご家族とも心地よいというグループホーム作り	ご家族が来訪された機会をとおし、具体的なご希望、要望等を聞いていく	平成26年12月
4	13	職員を育てる取り組み⇒組織内においてのスーパービジョン機能が弱い	各リビングに機能するスーパーバイザーを育成する	各リビングにチーフ・サブチーフを配置しているが、特にスーパービジョン3機能のうち管理的機能、教育的機能について弱さがあるため、レベルに合わせた具体的指示を出していく	平成26年12月
5	19	本人と共に支え合う家族との関係⇒ご本人の状態についてのご家族との認識にズレが生じる場合がある	状態認識のズレを解消し、ご家族と私たち三位一体となった生活を作り出す	管理者、看護師等がご家族へ報告という範囲を広げ、スタッフが夫々にご家族とお話出来る「コミュニケーション能力」を強化していく。このためには介護計画・物タリリング・再アセスメントを十分理解させる	平成26年12月

注1)項目番号欄には、自己評価項目の番号を記入して下さい。

注2)項目数が足りない場合は、行を追加して下さい。